

5月21日（金）スクールカウンセラーの役割

本校には他校との兼務でスクールカウンセラーがいます。先日、来校の際、3、4年教室にて『グループエンカウンター』を行っていただきました。グループエンカウンターというのは、『自分自身・友達同士のことを考える活動である』と言えます。担任とスクールカウンセラーが学級の子どもたちとその活動していきます。



初めて私は本校のスクールカウンセラーさんと出会いましたが、雰囲気がとてもよく、話すリズムがゆったりとして話す心地よさを感じました。

今日は、インタビューゲームといって2人一組でインタビューをしあって相手の情報を得ます。次に、その人の情報を他の人に紹介するという活動です。



意外とインタビューしないと友達の情報は聞けないものです。まず、子どもたち同士でいくつか質問をしあいました。その後、他己紹介になります。やはり、人に自分のことを紹介してもらうのは恥ずかしいものです。次のページは、隣の人を紹介している様子ですが、分からないことがあると隣の人に助けてもらったり、相手に言われると恥ずかしいという仕草を見せたりしています。そういうことに気づく時間がグループエンカウンターのよさです。

また、マイクを持ち堂々と言っている子もいました。そういう自分に気づくのも大切な活動の時間です。



私が伝えたかったのは、グループエンカウンターではなく、**スクールカウンセラーの利用**です。学校には様々な立場の方が近年入ってこられました。私はとても良いことだと思っています。**スクールカウンセラー**は言わば傾聴することの上手な専門家であり、子育てへの支援を行ってもらえる方であるということです。案外、話すことで「**ここがスーっとすることはよくあります。**」スクールカウンセラーとの話において、**原則は秘密です**。スクールカウンセラーと話したことは**一切学校内外に出ることはありません**。ぜひ、子育てへの相談事がありましたら、遠慮せず本校担当、又は教頭まで連絡ください。スクールカウンセラーの年間の来校予定ももう一つの文書に掲載しています。

(文責：校長)